

1. 化学製品と会社に関する情報

ア. 製品名: R203

イ. 製品の勧告用途と使用上の制限

- 勧告用途: 研磨用
- 使用上の制限: 用途外に使用禁止

ウ. 製造者/供給者/流通業者情報

- 製造会社名: 太陽研磨株式会社
- 住所: 京畿道安山市檀園区城谷路 26
- 担当部署: 太陽研磨株式会社技術研究所
- 電話番号: 031)495-6071
- 作成日: 2015. 01. 13
- 改定日: 2015. 01. 13

2. 有害・危険性

ア. 有害性、危険性分類: 該当なし

イ. 予防措置文章を含めた警告表示項目

- 凶文字: 有害性分類 該当なし
- 信号語: 該当なし
- 有害、危険文章: 該当なし
- 予防措置文章
 - 予防: 該当なし
 - 対応: 該当なし
 - 保存: 該当なし
 - 廃棄: 研削物による汚染された廃研磨布、紙、フィルム等は廃棄物関連法規によって処理

ウ. 有害・危険性の分類基準に含まれていない他の有害・危険性

- 研磨布、紙はフェノール/ホルムアルデヒド樹脂を含有しているため、研削時に生成される粉塵には微量のフェノールとホルムアルデヒドが残存することがあるので、粉塵に露出し過ぎる場合、皮膚刺激または呼吸困難が起こることがある。
- 目に入った時: 粉塵が充血を起こすことがある。
- 肌に触った時: 肌アレルギーのある人は、粉塵によって肌刺激が起こることがある。
- 吸い込んだ時: 粉塵を長期間吸い込んだ場合、呼吸困難が起こることがある。
- 飲み込んだ場合: 知られている資料はないが、飲み込んではいけません。
- 緊急な危険及び有害性情報: 該当事項なし

3. 構成成分の名称及び含有量

| 化学物質名 | 慣用名及び異名 | CAS 番号 | 含有量(%) |
|--------------|------------------------|------------|---------|
| ポリエステル | Polyester | N/A | 25 ~ 60 |
| 酸化アルミニウム | Aluminum Oxide | 1344-28-1 | 25 ~ 45 |
| アルミナジルコニア | Alumina Zirconia | 68955-26-0 | 15 ~ 30 |
| 硬化されたフェノール樹脂 | Cured Phenolic Resin | 9003-35-4 | 8 ~ 16 |
| 炭酸カルシウム | Calcium Carbonate | 16389-88-1 | 1 ~ 10 |
| クリオライト | Cryolite | 15096-52-3 | 1 ~ 15 |
| ホウフッ化カリウム | Potassium Fluoroborate | 14075-53-7 | 1 ~ 15 |

4. 応急措置要領

- ア. 目に入った時：直ちに水とせっけんで十分洗い出すこと。
イ. 肌に触った時：水とせっけんでキレイに洗い出すこと。
ウ. 吸い込んだ時
① 通風がよくできる所に移す。
② 呼吸が困難である場合、人工呼吸を行う。
③ 直ちに医者の方を受取る。
エ. 飲み込んだ時：直ちに応急センターに連絡した後、適切な措置を取る。

5. 爆発及び火災時の対処方法

- ア. 適切な(及び不適切な)消火剤：普通の消化液剤を使うか、微細な水の噴霧で撒水すること。
イ. 化学物質から生ずる特定有害性：該当事項なし
ウ. 火災鎮圧時に着用する保護具及び予防措置：物質自体または燃焼生成物の吸入を避けること。

6. 漏出事故時の対処方法

- ア. 人体を保護するために必要な措置事項及び保護具：該当事項なし
イ. 環境を保護するために必要な措置事項：該当事項なし
ウ. 浄化または除去方法：該当事項なし

7. 取扱及び貯蔵方法

- ア. 安全取扱要領：該当事項なし
イ. 安全な貯蔵方法

- 直射日光の当たらない所に保管すること。
- 地面やコンクリートの上に置かないこと。
- 湿気の多い所や熱の発生源を避けて保管すること。
- 温度は 15℃～27℃、相対湿度は 40%～50%の場所に保管すること。

8. 露出防止及び個人保護具

ア. 化学物質の露出基準、生物学的露出基準等：該当なし

イ. 適切な工学的管理：換気機

- 局所排気装置：大気中での許容限界値以下の汚染物質がある場合に使用
- 集塵装置：大気中での許容限界値以上の汚染物質がある場合に使用

ウ. 個人保護具

- 呼吸器保護：防塵マスク(指定製品)、大気中の粉塵が許容限界値以上である場合に着用
- 目の保護：保護めがね、研削作業時に目を保護するために必ず着用
- 手の保護：保護手袋、研削作業時に手を保護するために必ず着用
- 耳の保護：耳栓、検索作業時に騒音を発生させる場合に耳栓を着用

9. 物理化学的特性

| | |
|--------------------|--------|
| ア. 外観 | 該当事項なし |
| イ. 臭い | 該当事項なし |
| ウ. 臭いの閾値 | 該当事項なし |
| エ. pH | 該当事項なし |
| オ. 融点/氷点 | 該当事項なし |
| カ. 初期沸騰点と沸騰点の範囲 | 該当事項なし |
| キ. 引火点 | 該当事項なし |
| ク. 蒸発速度 | 該当事項なし |
| ケ. 引火性(固体、気体) | 該当事項なし |
| コ. 引火または爆発範囲の上限/下限 | 該当事項なし |
| サ. 蒸気圧 | 該当事項なし |
| シ. 溶解度 | 該当事項なし |
| ス. 蒸気密度 | 該当事項なし |
| セ. 比重 | 該当事項なし |
| ソ. n-オクタノール/水の分配係数 | 該当事項なし |
| タ. 自然発火温度 | 該当事項なし |
| チ. 分解温度 | 該当事項なし |
| ツ. 粘度 | 該当事項なし |
| テ. 分子量 | 該当事項なし |

10. 安全性及び反応性

- ア. 化学的安全性：安定している。
- イ. 有害反応の可能性：該当事項なし
- ウ. 避けるべき条件：該当事項なし
- エ. 避けるべき物質：強酸、強塩基及び強い酸化剤は製品に変形を与え、製品を使用時に機械的性能が落ちることがある。
- オ. 分解時(研削時)に生成される有害物質：粉塵が発生され臭いがすることがあるが、集塵機によってほとんどは除去可能。

11. 毒性に関する情報

- ア. 可能性の高い露出経路に関する情報
- 呼吸器を通じる吸入：資料なし
 - 口を通じる摂取：資料なし
 - 肌の接触：資料なし
 - 目の接触：資料なし
- イ. 短期及び長期露出による遅延、急性影響及び慢性影響
- 急性毒性：資料なし
 - 肌腐食性または刺激性：資料なし
 - 酷い目の損傷または刺激性：資料なし
 - 呼吸器過敏性：資料なし
 - 肌の過敏性：資料なし
 - 発癌性：資料なし
 - 生殖細胞の変異原性：資料なし
 - 生殖毒性：資料なし
 - 特定標的臓器毒性物質(一回露出)：資料なし
 - 特定標的臓器毒性物質(反復露出)：資料なし
 - 吸引有害性：資料なし
- ウ. 毒性の数値的尺度(急性毒性推定値等)：資料なし

12. 環境に及ぼす影響

- ア. 水生・陸生生態毒性：資料なし
- イ. 残留性及び分解性：資料なし
- ウ. 生物濃縮性：資料なし
- エ. 土壌移動性：資料なし

オ. その他有害影響：資料なし

13. 廃棄時の注意事項

ア. 廃棄方法：研削物によって汚染された研磨布、紙、フィルムなどは廃棄物の関連法規によって処理すること。

イ. 廃棄時の注意事項：第 8 項の露出管理及び個人保護具の情報を参照して処理すること。

14. 運送に必要な情報

ア. UN 番号(UN No.)：該当なし

イ. UN 適正船積み名：該当なし

ウ. 運送における危険性等級：該当なし

エ. 容器等級：該当なし

オ. 海洋汚染物質：該当なし

カ. 使用者が運送または運送手段に関して知る必要があるか、または必要な特別な安全対策：該当なし

15. 法的規制現況

ア. 産業安全保健法による規制：資料なし

イ. 有害化学物質管理法による規制：資料なし

ウ. 危険物安全管理法による規制：資料なし

エ. 廃棄物管理法による規制：指定廃棄物

オ. その他国内及び外国法による規制

○ 残留性有機汚染物質管理法：資料なし

○ EU 分類情報：資料なし

○ アメリカ管理情報：資料なし

○ ロッテルダム協約物質：該当なし

○ スtockホルム協約物質：該当なし

○ モントリオール議定書物質：該当なし

16. その他の参照事項

ア. 資料出処

○ 韓国産業安全保健公団提供 MSDS(<http://www.kosha.or.kr>)

○ 化学物質の分類、表示、及び物質安全保健資料に関する基準(労働部告知第 2008-29 号)

○ 国立環境科学の化学物質情報検索システム(<http://ncis.nier.go.kr>)

イ. 最初作成日付：2015.01.13

ウ. 改定回数及び最終改訂日付：2015. 01. 13(第 1 次)

エ. その他

- 韓国語版の MSDS は、現在の知られている知識、経験、及び関連資料に基づき作成されたもので、製品自体を完全に保証するものではありません。
- 韓国語版の MSDS を太陽研磨(株)の事前許可なしに商業的目的で再販売、韓国語以外の第 3 国語への翻訳は、著作権に係わる国内外法によって処罰されるか、または訴訟を訴えられる可能性があります。
- 国内関連規制法規の現況は、本製品の用途や知られている成分で判断したものですので、実際に国内関連規制法規の現況とは全く一致しないこともあります。